



秋冷の候、市民の皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、8月31日に開会しました8月通常会議においては、31件の議案を審査いたしました。今回可決した補正予算には、原油価格・物価高騰等への対策経費やコロナ対策及び頻発化・激甚化する自然災害への備えに要する事業費補正に係る予算等が措置されており、市民の皆様方に安心・安全な日々を過ごしていただくための取り組みが一層強化されたと考えております。

ごあいさつ

また、令和3年度の決算審査では、本市「総合計画第2期実行計画」に掲げる施策の推進と「夢があふれるまち大津」の実現に向け着実に取り組まれたこと、44年連続となる黒字決算となったこと、中でも、新型コロナウイルス感染症対策においては、国の地方創生臨時交付金を積極的に活用し、各種事業の優先性や必要性を十分に精査して予算執行に努められたことを評価しました。

しかしながら課題も多くあり、今後は短期的ではなく、中期財政フレームの枠組みを堅持しながらも、ポストコロナ時代を見据え、コロナ対策や災害対策はもちろん公共施設の老朽化対策、人口維持施策などの行政課題が山積しており、長期的な視点に立って市政運営を進めることが重要です。

私たち湖誠会の議員は、「住み続けたいまちおおつ」の実現に向け、皆様のお声をお聞きして、大津市政の発展のために引き続き全力で取り組む所存です。今後とも会派所属議員に対しまして、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

右より

寺田 英幸議員

竹内 基二議員

草野 聖地議員

近藤 眞弘議員

川口 正徳議員

竹内 照夫議員

幹事長 近藤 眞弘

令和5年度

『政策要望書』を市長に提出

令和4年10月11日(火)、令和5年度予算編成にあたり、79項目に及ぶ湖誠会としての「政策要望書」を市長に提出しました。

市民の皆様が安心・安全に住み続けることができる、「夢があふれるまち大津」を目指し、今後も執行部と共に全力で取り組んでまいります。



「政策要望書」を市長に提出



政策要望の主なもの(抜粋)

■中学校卒業までの医療費助成について

子どもの医療費助成について、本市は、小学校卒業までを対象としています。これまでも全国一律に、中学校卒業までに拡充することについて、国、県に要望してきました。拡充を早期に実現するためにも、本市が先行して助成を行うことを要望しました。



■地域幹線道路の整備促進について

国、県等の広域幹線道路の整備と整合をとりながら、必要な予算を確保し、計画的な整備と併せて、既存道路の長寿命化計画に基づいた道路環境の維持を要望しました。



■大津市公設地方卸売市場について

湖誠会がこれまで要望してきた、老朽化する冷蔵施設の更新については、今年度予算化が図られました。引き続き、市場の活性化、市場全体の経営力向上を要望しました。



■ヤングケアラーの現状把握について

子どもが子どもでいられるように、本市におけるヤングケアラーの現状を把握し、今後の施策を検討するよう要望しました。



▲厚生労働省HP



令和3年度大津市決算の概要

8月通常議会においては、一般会計を含む12会計の令和3年度決算について審査を行い、全ての決算議案を認定しました。

総括

- 歳入総額、歳出総額ともに、過去2番目の決算額となりました。
- 前年度に比べ、実質収支、単年度収支ともに良化しました。

歳入

- 市税は、対前年度比で0.5億円の増収となりました。(＋0.1%)
- 国庫支出金は、対前年度比で246.5億円の減となりました。(△39.4%)
- 地方交付金は、対前年度比で31.2億円の増となりました。(＋30.8%)

歳出

- 扶助費等の義務的経費は、前年度比で94.1億円の増となりました。(＋13.5%)
- 一般行政経費は、対前年度比で310.2億円の減となりました。(△40.8%)
- 投資的経費は、対前年度比2.6億円の減となりました。(△1.5%)

一般会計決算額

(単位：千円)

	令和3年度	令和2年度	R03/R02
歳入	145,851,074	166,426,057	87.6%
歳出	141,074,206	162,951,450	86.6%
差引(形式収支)	4,776,868	3,474,607	137.5%
実質収支	4,632,721	3,271,240	141.6%
単年度収支	1,361,481	555,734	245.0%
実質単年度収支	2,643,106	2,291,346	115.4%

実質収支：形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額

単年度収支：当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

実質単年度収支：単年度収支に実質的な黒字を加え、実質的な赤字を差し引いた額

令和4年度8月補正予算のポイント

8月31日から10月13日までの44日間にわたって開催された令和4年8月通常議会においては、約47億円及び約25億円を追加する2件の補正予算案が提出され、慎重に審査した結果、いずれの議案も可決しました。

I. 当初補正の概要(9/29採決分)

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業の追加

●原油価格・物価高騰等への対策経費の補正

- 市内大学に通う学生への食生活支援 [2,441万円]
- 子ども食堂等活動支援 [175万円]
- 認定農業者等に向けた農業用燃油等高騰対策に係る県制度実施経費 [465万円]
- 学校給食事業における物価高騰対策に要する繰出金 [2,070万円]

●感染防止対策の強化

- 疫学調査業務及び受診・相談センター運営事業の外部委託化 [2億4,534万円]
- 新型コロナウイルスワクチン接種の推進(オミクロン株対応ワクチン接種経費の追加等) [6億3,000万円]

- 市立小中学校の児童・生徒用トイレに係る清掃・消毒業務の外部委託通年化 [1,866万円]

●頻発化・激甚化する自然災害への備えに要する事業費の補正

- 市道路線等の危険箇所における重点的監視体制強化 [110万円]
- 長等公園の法面変状への対策(災害発生予防工事のための測量設計等) [1,226万円]

- 堂の川支流(馬場一丁目ほか)の仮復旧等に要する経費 [2,060万円]

●国庫補助金等を活用した事業費の補正処置

- 民間障害児(者)社会福祉施設等整備費補助 [1億757万円]

- 高齢者施設等の防災・減災対策に係る整備費補助 [7,696万円]

- 民間児童クラブ開設整備費補助、自動運転実証調査事業負担金 [1億6,980万円]

●事業進捗等に応じたその他事業

- HPVワクチンの自費接種者への支援 [907万円]
- 葛川森林キャンプ村のあり方検討の推進 [923万円]
- 大津湖岸なぎさ公園周辺の魅力向上関連事業費の追加 [850万円]

2. その他事業

- 観光交流の推進に要する経費の補正
令和6年1月放映開始予定の大河ドラマ「光る君へ」を契機とした観光プロモーションの展開に要する経費 [670万円]
- がん検診(胃がん・子宮頸がん・乳がん)の地域巡回集団検診業務に係る債務負担行為 [1,969万円]
- 学校給食の質と量を確保するため物価高騰対策経費 [2,070万円]

II. 追加補正の概要(10/13採決分)

1. 事業の追加

●住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等の価格高騰を踏まえた国の支援経費

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付 [18億4,630万円]

●電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した本市独自の支援経費

- 〈生活支援〉
- 国の支援給付金の対象とならない高齢者への生活支援 [4億1,079万円]
- 民間保育施設・私立幼稚園における給食費の負担軽減 [1,831万円]
- ひとり親家庭に対する子育て臨時給付金の給付 [6,927万円]

- 〈事業者支援〉
- 中小規模の病院等に対する電力・ガスエネルギー価格高騰対策支援 [4,500万円]
- 飲食業等を対象としたキャッシュレス決済ポイント還元事業 [1億5,000万円]
- 交通事業者(一般タクシー事業者、路線バス事業者)に対する燃料費高騰対策支援 [2,280万円]

主な事業

8月通常議会一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。※質問順に掲載しています。



竹内 基二 議員

大津湖岸なぎさ公園市民プラザ再整備で予想される交通混雑への対応

Q なぎさ公園市民プラザの民間活力導入による再整備と店舗出店は、多くの市民が期待を寄せるだけでなく、近畿全体からの来客も予想されるが、事業者による出店エリアの駐車場整備計画の概要と、行政としての市道の混雑解消に向けた方策の検討状況は。

A 事業者の計画では市民プラザ駐車場を現在の74台から増設の上、専用駐車場として整備するとともに、サンシャインビーチの駐車場も周辺の交通対策として再整備することとなっている。

本市としては、令和4年度中に市民プラザ周辺の交通量調査や交通シミュレーションを実施するとともに、関係機関と協議していきたいと考えている。



寺田 英幸 議員

人口減少時代における本市の人口維持施策

Q 若者層の転入促進事業は、令和4年度中に本市に転入し、アンケートに協力いただいた20歳代に対して記念品を贈呈する事業であるが、本事業の進捗状況と課題、今後の見込みは。

A 本事業の8月末時点の申込み件数は116件であり、対象となる年代への効果的な周知方法に更なる工夫が求められていると認識している。年度末にかけて転入者が増える傾向にあることから、様々な機会を捉え事業の周知に努める。

アンケートの結果によると、本市への転入理由は交通の利便性の高さや自然の豊かさであり、出産や結婚に関する支援を求める声が多いことから、これらに関する施策の推進が転入促進につながると考えている。

※他に2項目の質問あり。



川口 正徳 議員

県道南郷桐生草津線(県道108号)の整備進捗に併せた稲津橋及び市道幹1068号線への対応

Q 県道南郷桐生草津線との接続箇所である稲津橋周辺の交通安全対策と、県道の整備進捗に併せた稲津橋の架け替え及び市道幹1068号線の拡幅改修に対する見解は。

A 県道の整備進捗に伴い、稲津橋を含めた周辺の安全対策等について県及び公安委員会と協議を進めていく。

稲津橋は橋梁長寿命化修繕計画に基づき維持管理し、変位計測計で常時監視している橋梁であり、これらの状況を踏まえ、架け替え及び市道幹1068号線の拡幅改修については、今後、県が策定中の道路整備アクションプログラムとの整合を図りながら、本市が策定を進める道路網整備計画の中で検討していく。

※他に5項目の質問あり。



近藤 真弘 議員

異常気象下における水害対策について

Q 近年の異常気象下、内水氾濫が起きる可能性がある。家屋への浸水対策や河川の維持管理及び河川や用悪水路、道路側溝の改修など市としてどう取り組んでいくのか。

A 出水期には頻度を上げて河川を点検するなど、被害の防止・軽減に努めているが、近年の記録的な豪雨により一時的に内水氾濫が発生する事案もあり、特に住宅が密集した市街地では、水を安全に流す川の中の対策だけでなく、川の外の対策として浸透させる対策の組み合わせも有効と認識している。

また、河川や洪水調整池の機能を最大限活かすため、有利な地方債制度を活用して浚渫事業を進めている。さらに、市が管理する水路や道路側溝は、緊急性等を考慮しながら改修に努める。

※他に4項目の質問あり。